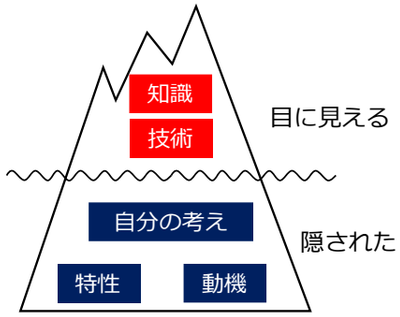
球磨工業高校　教務だより　１１月号

令和元年（２０１９年）１１月１日発行

「実習」

今回は「実習」がテーマです。実習では、座学で学んだ知識を使いながら、実際にものづくりをする中で技術を習得し、繰り返し実習を積み重ねることで人間性の向上を目指します。知識は教科書を見れば載っていますし、技術は上手な人と初心者は一目瞭然でしょう。そういう意味で、知識や技術は「目に見える」ものとして、できた・できないが判断しやすいですね。抜けていた知識は教科書で学び直す、身についていない技術は何度も練習して精度を上げる。やるべきことが明確です。

では、人間性はどのようにすれば向上するのでしょうか？　人間性には、自分の考え（態度、価値観、作業イメージ）、特性（音や温度・手触りなどの情報への反応）、動機（自分がどう在りたいか）などがあり、いずれもなかなか目に見えにくいものです。その意味で実習中は、人間性の部分が隠された学びとなっています。意識して学ぼうとしないと身につきませんし、身についているかどうかも判断しにくいものです。



図：実習における資質・能力の氷山モデル

奈須,2014 を参考に編集

この人間性の部分に焦点を当てて振り返っているのが、レポートや実習ノートですね！授業で学んだ知識や技術のまとめだけでなく、作業中は見えにくい自分の考えや、作業特性などを、実習を振り返りながら言葉で表現して、どのような人になりたいのか課題を見つけ出す。即ち、レポートや実習ノートに人間性を磨くポイントがあります。

良い振り返り（レポートやノート）には、獲得したい知識や技術だけでなく、磨きたい人間性の視点が必要でしょう！知識と技術、人間性を結び付けて実習に取り組んで、心のこもったものづくりができるといいですね。

【補足】初心者ほど、知識や技術のように目に見えるものから学ぶようです。それに対して、職人のような熟達者は知識、技術、自分の考え、特性、動機がそれぞれに繋がりを持って構造化されているため、物事に対して説明・予測する能力に長け、最適な判断と行動が取れるそうです。職人の無駄のない流れるような作業の美しさには、知識や技術に人間性がにじみ出ているのかもしれません。

一流の工業人への第一歩

実習教師　力　貴志

「実習について」執筆依頼があった際、内心他にも諸先輩方がいらっしゃる中で「なぜ私に？」と思っていました。しかし、日頃から「積極性」や「チャレンジ精神」という言葉を口にしている私にとって、大きなチャンスだと思い引き受けることにしました。

さて、皆さんは実習を通して何を身につけたいと考えていますか？機器の操作方法や危機管理能力ですか？学びたい、身につけたい思いはそれぞれあると思います。では、視点を少し変えて、先生方は実習を通して何を身につけて欲しいか考えてみたことはありますか？

先生方によって考え方は様々ですが、私は「人間力」を身につけて欲しいと考えています。

良い実習とは、単に実験をするだけではなく、あいさつ・準備や片付け・次の使用者の為の整理整頓など１人１人が自らの役割を理解し協力することにより、座学と実技を結びつけた技術を習得することであると思います。私は、この積み上げこそが一流の工業人への第一歩であると考えています。

この実現のためには、やはり「積極性」や「チャレンジ精神」を持った意欲的な授業態度が求められます。私自身も生徒の皆さんに求めるばかりではなく、意欲的に楽しんで授業を受けてもらえるように日々努力していきたいと思います。

最後に、私が大切にしている言葉を球磨工生に贈ります。

「技は人
　　人の誠（まこと）あって
　　技術に至る」

生徒の皆さんも立派な工業人を目指して１日１日の授業を大切に誠実さを持って取り組みましょう。君たちの将来の為に私も一緒に頑張ります。

Let’s challenge！

大事にできる人、できない人

実習教師　岩永　憲和

建築科の実習では木材を使います。使用する木材は、主に杉や桧です。1 年次には継手、仕口、2 年次には 2 方転び椅子、3 年次では 4 方転び椅子などを製作します。専攻科では本科で学んだ知識や技術を生かして、地域からの依頼物件を製作しています。

実習で大事にしていることは、建築に興味と好意を持たせることを目標にしています。私は大工の経験しかありませんが、夏は暑いし、冬は寒いところで作業します。また危険な所での作業もあります。そんな環境の中で仕事をするには、やりがいと好意がないと続きません。工業高校の建築科を選び、入学した生徒には、ものづくりの良さ、木材の素晴らしいところを教えています。

もう一つ大事にしているものがあります。今までの経験で作業(仕事)のできる人はモノ（道具や工具など）を大事にし、整理整頓ができていました。逆を言えば、できない人は、それができていません。趣味ではありませんが、道具箱と筆箱の中を見ることがあります。見ることで、その人の部屋を想像することができます。実習で上手にならない人には片付けを勧めることがあります。今一度、仕事のできるかっこいい大人になりたかったらやってみませんか？

最後に自分に必要でないものは、勉強しなくてもいいと思っていませんか？　それは違います。一つのものを極めようと思ったら、それに付随するあらゆるものを勉強していかなければなりません。大工でいえば木材の扱いだけでなく、地盤、基盤、屋根、設備、その土地の風土などを知って、初めて一人前になります。大人になると自由な時間がありそうでないのが現状です。学生の時にいろんなことにチャレンジしてください。

整然と並べられた建築科実習棟の道具棚

作業(仕事)のできる人はモノ(道具や工具など)を
大事にし、整理整頓ができていました。
逆を言えば、できない人は、それができていません。

１１月の行事予定表

月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
28	代休（10/27 分）	29	(検)英	30	後期進学公務員課外開始	31		1	くまもと教育の日 午前：①②③授業 午後：芸術鑑賞	2		3	文化の日
4	振替休日	5	(検)数学	6	(短)(服) 木造伝統工法見学会(2A)	7		8	漢字検定 献血セミナー	9		10	2 級電気工事 施工管理技術検定
11	(検)国語	12	④⑤⑥建築科 特別授業（3 A・専攻科） 建設産業ガイダンス	13	校内公開授業週間(~19 日) ①②③建築科特別授業(2A) 建築現場企業セミナー(1A) 生徒研究発表大会(崇城大)	14	④⑤⑥建築士会 講演会(全校生徒)	15	午前：木④⑤⑥ 薬物乱用防止講演会 計算技術検定	16	専攻科後期選抜(予定)	17	
18		19	(短) 校内防災訓練 美化コンクール(~25 日)	20	建築科木育班交流	21	献血	22	④⑤⑥①②③授業 人吉球磨地区ダンス発表会(本校会場) 生徒会役員改選	23	勤労感謝の日	24	工事担任者試験
25	専攻科後期合格発表	26	期末考査 心のアンケート	27	期末考査	28	期末考査	29	期末考査 1 学年育友会 13:30~	30		1	

参考文献　奈須正裕(編)(2014).『知識基盤社会を生き抜く子どもを育てる：コンピテンシー・ベイスの授業づくり（シリーズ新しい学びの潮流Ⅰ）』.東京：岩波書店